

平成 29 年度 芸術科

| | | | | | | | |
|-------|-------------------|----|-----|-----|------|----|------|
| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術Ⅱ | 単位数 | 2 単位 | 年次 | 2 年次 |
| 使用教科書 | 「高校美術 2」 (日本文教出版) | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○自然、自己、社会などを深く見つめ創ろうとする作品の主題を生成し心豊かに創造的な表現をする「絵画・彫刻」と、自然、自己、社会などを深く見つめ創ろうとする作品の主題を生成し生活を美しく豊かにする創造的な表現の「デザイン」と、お互いの作品を批評し合う活動を含む「鑑賞」の分野を学習します。

○主題に合った表現方法の工夫、表現形式の選択、表現材料の工夫、目的や条件を踏まえたデザイン効果などを心がけ、心豊かに創造的な表現に取り組みましょう。時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違や共通性を知り美術文化の理解を深めましょう。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|--|---|---|---|---|
| 観 点 の 趣 旨 | 美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 | 感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 | 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。 | 美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な観点から創造的に味わっている。 |
| 評 価 方 法 | 制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループ ワークの様子 | ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品 | 制作途中の作品 作品 | ワークシート 発言内容 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|-----|----------------------|---|---------|---|---|---|---|--|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 「美術Ⅱ」の学習について | [鑑賞] ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、美術Ⅱの授業内容を認識する。 | ◎ | | | ◎ | a: 1年次の学習を踏まえ、更に深めて行く学習の意欲を高めようとする。 d: 美術作品の価値や世界の多様性を知り美しさやよさの質を探り美術文化の理解を深めようとする。 | 学習活動の様子 |
| | 「私の好きな場所」をテーマとする絵画表現 | [絵画・彫刻] ・自己の内面や自分を取り巻く状況などから主題を生成する。 ・主題を基に構想を練り、アイデアスケッチなどにより自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・表現の意図に応じた材料や用具を吟味して使い、主題を追及し、やり切る。 | ◎ | ○ | ○ | | a: 「私の好きな場所」というテーマを基に自己の内面を見つめ感じ取ったことや考えたことなどから、主体的に主題を生成している。 b: 形体、色彩、構成などを創意工夫して構想を練ろうとしている。 c: 表現目的や意図に応じて材料や用具の特性や効果を生かす工夫をしている。 | ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 |
| | 夏期課題「ポスター」 | [デザイン] ・様々なポスターコンクールに参加し、作品を校外に発表する経験を味わう。 ・1学期の復讐を目的とし次学期に向けての取り組みを向上する | ◎ | ◎ | ◎ | | a: ポスターを創ることに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現しようとしている。 b: 文字と絵柄との構成を考えて表現の構想を練っている。 c: アクリル絵の具などの材質を生かし、表現方法を工夫して、各コンクールの条件を基に表現している。 | アイデアスケッチ 作品 |

| | | | | | | | | |
|-----|------------------|--|---|---|---|---|--|--|
| 2学期 | 絵本を作る | [デザイン][鑑賞] ・アイデアスケッチ 課題テーマ「Happy」「Special」の いずれかを選択しスケッチする。 ・制作 アクリル絵の具やクレパスや色 鉛筆など必要な素材等を使って 制作する。 ・作品を読み聞かせ発表する。 相互鑑賞と鑑賞文の発表。 | ◎ | ○ | | | a:生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的や条件を踏まえて表現する事に関心をもち主体的に取り組もうとしている。 b:ストーリーを通して伝えようとする内容からデザインの目的、機能、美しさなどから創ろうとする絵本の主題を生成し、表現材料や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて表現材料の材質を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を豊かにする美術の働きや作品の理解を深めている。 | ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品 |
| | 新しい美術の表現 | [鑑賞] ・様々な表現方法を今日の生活の中から調べ、その中で自分が最もよさや美しさを感じ取る作品を選び、表現の特徴や工夫についてまとめる。 ・作品について調べる。 | ◎ | | | ◎ | a:作品や作者の個性などに関心をもち、発想や構想の同時性、表現の工夫などについて分析している。 d:心豊かな生き方の創造にかかわる美術の働きについて理解を深めている。 | ワークシート 鑑賞活動の様子 |
| 3学期 | 紙を使って「動物」の立体を創ろう | [絵画・彫刻] ・アイデアスケッチ ・制作 ケント紙の材質を生かし、面と面を組みあわせて立体を作る表現方法を工夫する。 | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | a:創ろうとする作品の動物を決め、その動物の特徴や表情を表現することに関心をもち主体的に取り組もうとしている。 b:どのような面を組み合わせるか、形体を工夫して構想を練っている。 c:ケント紙の材質を生かし表現方法を工夫して創造的に表現している。 | アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 |

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。